

平成28年7月1日

会員各位

# 協会だよりー283(7月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)  
触媒資源化協会

トピックス：

- 第228回月例会（講演会）が近づいています。  
日時：7月7日（木）講演会 14：30～16：45 懇親会 17：00～19：00  
場所：主婦会館（JR 四ツ谷駅麴町口前1分）東京都千代田区六番町15
- ① 松宮 徹氏（金沢大学大学院 客員教授） 14：30～15：30
- ② 西村雅宏氏（RAPAS ㈱ 営業部長） 15：45～16：45



真田氏歴史館（上田市真田町）にて 真田丸も佳境に

- 一. 協会よりのお知らせ  
【実施済事項】  
【予定事項】
- 二. 新会員紹介（ユミコアジャパン ㈱）
- 三. 事務局より（七月度の予定）
- 四. 【雑学】町田市の境界を巡る4（唐木田駅～相原駅まで）

## 1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー282（6月号）をメール&郵便で送信（5/27）
- ② 第230回月例会（一泊研修会）のご案内（6/17）
- ③ CMAJ と JCRA の運営委員交流・堺化学様にて（6/24）

【予定事項】

### ① 第228回月例会（講演会・懇親会）

日時：7月7日（木）講演会 14：30～16：45 懇親会 17：00～19：00  
場所：主婦会館（JR 四ツ谷駅麴町口前1分）東京都千代田区六番町15

- 松宮 徹氏 (金沢大学大学院 客員教授) 14:30~15:30
- 西村雅宏氏 (RAPAS(株) 営業部長) 15:45~16:45

② 第229回月例会(見学会・懇親会)のご案内(7/12頃予定してます)

日時:9月9日(金)10:00~15:00

見学先:石坂産業(株)(埼玉県入間郡三芳町上富緑1589-2)

備考:集合・JR池袋駅西口芸術劇場前、8:30出発予定(貸切バス利用)

懇親会:場所未定(17:00~19:30位)・都心に戻る予定。

2. 新会員紹介(ユミコアジャパン(株))

6月14日、役員会にて入会が承認されましたのでよろしくお願いいたします。

- ユミコアジャパン株式会社

住所:東京都港区北青山一丁目2番7号

代表者名:代表取締役 松原 敦史 殿

設立年月日:平成14年6月3日

資本金:1,800,000千円

従業員数:61名

協会担当者:松島 緯央 殿(貴金属バッテリーリサイクル、マネジャー)

主なる事業内容

コバルト・ニッケル・ゲルマ等の金属と各種貴金属をベースとした工業製品の輸入販売

資源化事業内容

ベルギー・ポーランドでの貴金属リサイクル事業

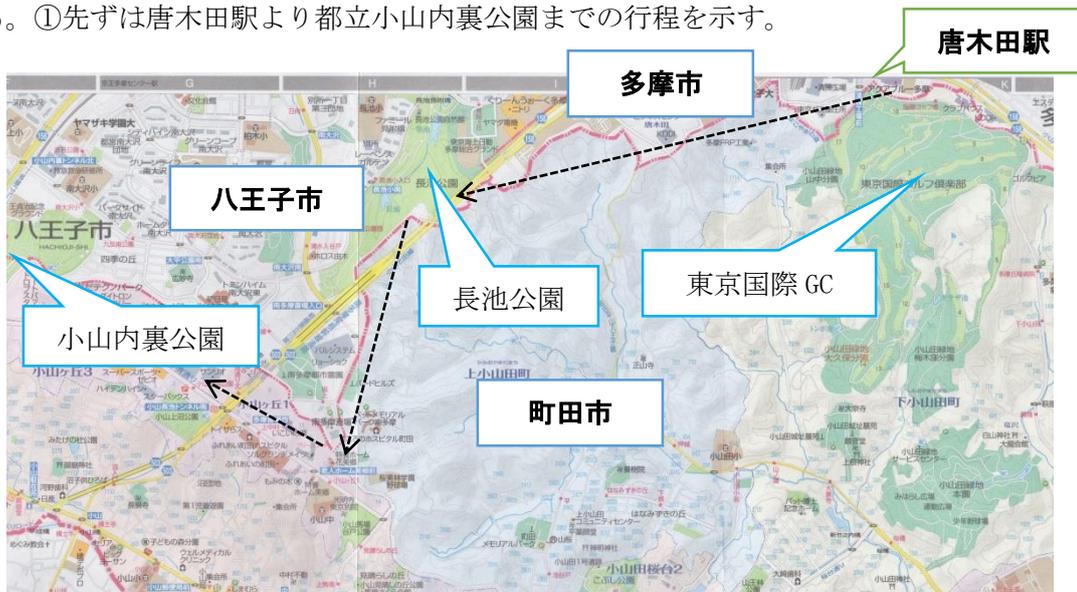
以上

3. 事務局より(7月度の予定)出勤予定:9日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	1	2
盛岡(6/26⇒6/27)		○	×	○	○	×
3	4	5	6	7	8	9
×	×	○	×(C)	228月例会	×(W)	×(M)
10	11	12	13	14	15	16
×	×	○	×	×	○	×(M)
17	18	19	20	21	22	23
×	×	○	×	第2回運営委	×(G)	×
24/31	25	26	27	28	29	30
×(M)	×	○	×(G)	×	○	×

#### 4. 【雑学】町田市の境界を巡る4 (唐木田駅～相原駅まで)

前回、町田市と多摩市の境である東京国際ゴルフ場まで歩き、唐木田駅より帰途に着いた。その続きとして3月18日、小田急多摩線の終点である唐木田駅に集合、JR 横浜線の相原駅まで約12km ウオーキングの開始となった。このシリーズを始めてから今回まで4回とも快晴であるのは非常にハッピーである。今回のコースの市境は町田市と多摩市・八王子市となる略・西へ向って進む長いウオーキングであるため、地図は数度に分けて添付する。①まずは唐木田駅より都立小山内裏公園までの行程を示す。



唐木田駅は多摩市にある。今回歩く町田市と多摩市の境〈多摩よこやまの道〉は、前回歩いた東京国際GCと多摩清掃工場の隣り合う交差点まで戻ることになる。出発前に唐木田駅前より大妻女子大学多摩キャンパスを望むと緩やかではあるが長い坂道で長坂道と名付けられているようだ。ちなみに途中にその名の長坂公園というのがある。リーダーによると、今回のコースは急勾配ではありませんとのことだが結構きつそうだ。



清掃工場前の信号より、ゴルフコースを横目に見ながら、多摩よこやまの道へ入る。

先ほどの長坂道は、ここより東京国際ゴルフ場の中を歩いて（今は廃道）小山田氏の館（今の大泉寺）に通じ、京の都より奥州へ向う主要な道であったといわれている。今回の概略のコースを以下に示す。

小田急多摩線唐木田駅（始） ⇒ よこやま道西端 ⇒ 長池公園 ⇒ 尾根緑道 ⇒ 都立小山内裏公園 ⇒ 多摩美術大学 ⇒ 国道16号線横断 ⇒ 相原橋 ⇒ 御殿 峠 ⇒ JR 横浜線相原駅（終）



よこやま道を登ってすぐに平坦な小公園があって一時休憩、桃の花が満開であることを堪能し、また上り道を行くと一般道より見る目線とはまた違った、今はまだ終着駅の小田急多摩線・唐木田操車場が眼下に現れる。



よこやま道は稜線を通っているの町田側も多摩側も眼下に見えるが、自然豊かな町田側（手を付けられずの自然？）、稜線近くまで開発の進んだ多摩側のイメージがある。

境界道路は一度、一般道を横切り大妻女子大学の裏手に出る。KDDI のビルを過ぎた高台からは尾根幹線道路の北側（京王堀の内方面）の



ショッピングセンター〈ぐりーんうおーく多摩〉、K’s電機〈八王子市〉、東急ライディングスクール〈多摩市〉を眼下に望む。ここは多摩市が八王子市と町田市の境に無理やり指を突っ込んだ形の境界になっており、もうすぐ現れる唐木田配水所〈多摩市〉の先が3市の境界地点である。3市境界のわずか手前の町田市と多摩市の境界上に鶴見川流域最高度三角点「山王塚」〈189m〉があり、3市境界から先は町田市と八王子市の境界となる。ここから先は尾根幹線道路に平行した散策路だが、道幅は広く且つ平坦で歩行時の足元が楽になる。もうすぐ幹線道路を横切り長池公園〈八王子市〉に達する長池上小山田陸橋が現れる。



長池上小山田陸橋を通る道はアスファルト舗装され一般道であったようだが、今は車止めを設置して人道専用となっており、この道路を通って長池公園へ向う。陸橋から見る尾根幹線道路は、片側2車線かつ中央分離帯があり、まるで一見高速道路のようだ。

長池公園は八王子市ではあるが、立寄って小休止をし、給水や甘みを取り体調を整える。



《長池公園》東京都八王子市別所二丁目

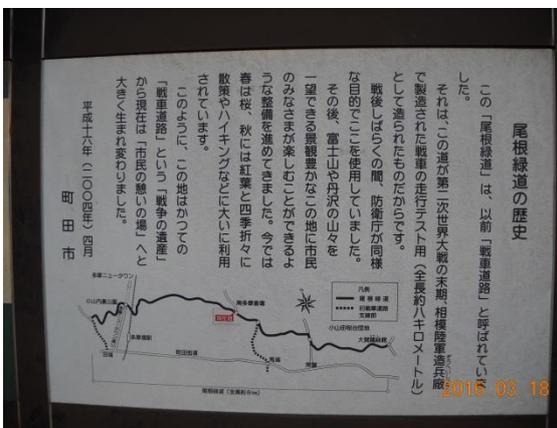
この公園は、農業用のため池としての役割を担っていた「長池」と「築池」を中心に配し、これらを取り囲むように小川や湿地、そして広大な雑木林が残された、面積20haの自然保全型公園である。公園の名前の由来となった長池には浄瑠璃姫（小山田高家の夫人）の伝説も残されている〈長池公園総合案内板より〉。小山田氏については、町田市の町

名に上小山田町、下小山田町として残っており、かつ尾根幹線道路の町田市側は上小山田町で長池とは近接距離にある。

次の写真は長池公園の入口門（尾根幹線口）と公園内の展望台より南大沢、尾根緑道方面を写したものである。



長池公園を出ると、境界線道路は尾根幹線道路が遮断しているため進めず、一般道の信号を渡り南多摩斎場方面へ向い、斎場横の道路を通り抜け目的の尾根緑道に入る。鶴川でもそうであったが、この市境でも霊園が多いようだ。尾根緑道は南多摩斎場より北西は八王子市と町田市の境界道路となり、その昔、通称戦車道路といわれていた。遊歩道ではあるが、アスファルト舗装を施し、まるで大型トラックが通行できそうな幅を持つ道路で、小山田桜台の大賀藕絲館より国道16号線に接する所までの尾根道である。尾根緑



道に入ると、町田街道に平行し近接していることから多摩よこやま道とは一転し町田市側も八王子市側も小山内裏公園手前までは境界ギリギリまで市街化が進んでいる。

尾根緑道上より町田側を写したもので、その先には相模原市や丹沢の尾根が見える。



尾根緑道には、見事なこぶしの花が咲き、しばらく行くと南大沢配水所が現れる。そのすぐ側まで市街化されマンション群が林立。



《都立小山内裏公園》町田市小山が丘 4-4

都立の公園として 2004 年に開園。面積 459,211 m<sup>2</sup>の広大な公園であるが、大部分は四つのサンクチュアリーとなっており、サンクチュアリーには立ち入りが出来ない。アクセスは公園の下を京王相模原線が通っており、多摩境駅を利用すると徒歩 10 分でパークセ



ンターに到着する。私たちは、草地広場の所から尾根緑道を離れて、パークセンター（飲料自販機・屋内自動水洗トイレ完備）まで下り、昼食タイムとなる。パークセンター前には、ベンチやプ

ラスチックのテーブルに椅子が 4 脚付いて 4 セットほどあり、20 名ほどの食事場所としては十分な設備が整っている。昼食後、上高地似の立ち枯れ樹木の林立する太田切池脇を通り、再度尾根緑道まで戻る。しばらく歩いているとカラフルな鎌水小山給水塔が現れる。

東京都は同給水所と拝島給水所間の整備を終え（総延長 19.6km、事業費約 440 億円）、拝島～鑑水小山～聖ヶ丘給水所間の「多摩丘陵幹線」を全線完成させた。多摩地区 160 万人向け送水能力強化、広域バックアップ機能の確保を図った。八王子市も鑑水まで来ると、ここから先は宅地開発（区画整理）が済んでいるものの、建物はほとんど無く更地が続いているが、町田街道に近いため逆に町田市側の小山町は市街地化が進んでいる。

②の行程図として小山内裏公園より尾根緑道西端までを示す。



鑑水のトンネル上を過ぎると、山道に入る。お互いの市民の交流を拒否する如く、どこかの国のように、まるで不法侵入を防御するように八王子市側と町田市側の境界はフェンスで強固にガードされている。市の境はそんなに大事なのであろうか？私たちはその脇の踏み分け道のような尾根緑道を黙々と進む。この道を過ぎると突然広い道になり、多摩美術大学が現われる。こちらの大学入口は南門のようだ。

**お互いの市を隔てるフェンス・歩いているのは八王子市、フェンスの左は町田市である。**



《多摩美術大学》八王子市鍵水 2-1723

発祥は 1935 年、世田谷区上野毛に開校した多摩帝国美術学校である。1971 年、八王子キャンパスを設置し本部を上野毛に置くものの、ここ八王子が大学の主体となっている。

多摩美大の裏側からキャンパスを眺めながら行く尾根緑道は、途中にベンチなどもあり、開放された広く明るい遊歩道である。もうすぐ 16 号との接点、尾根緑道西端（終点）が近



づいてくる。16 号に出て、街道沿いに南下しスーパー銭湯「ロテングーデン」の南の路地を登って行く。



16 号バイパスにかかる相原橋を渡り、さらに急傾斜の住宅地を通って、山林道へ入る。町田市側の北側は、八王子市の中に指を突っ込んだような地形をしている。

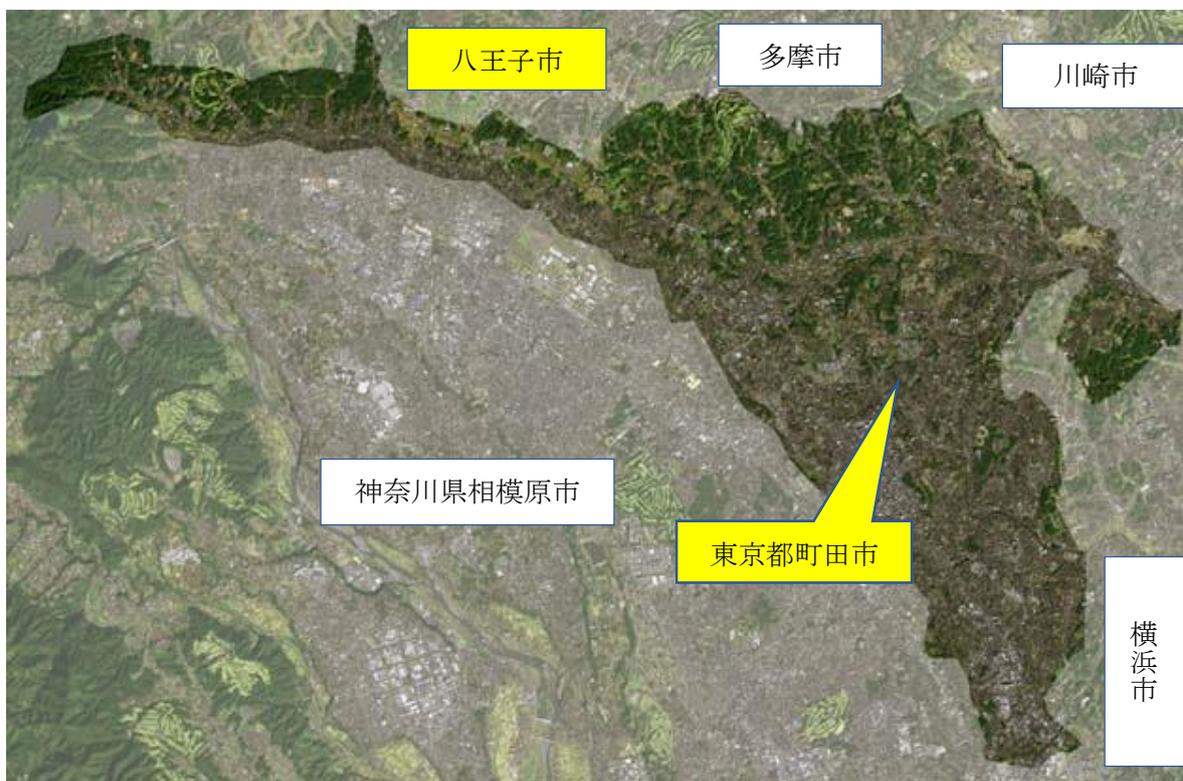
ここは江戸時代、相原村の入会地（秣場）として隣村と境界争い（秣場事件）をした所と言われている。山林の中に山道はあるのだが、その先は私有地であったり、獣道位の定かではない道のようなのである。山道を下ると急傾斜ではあるが住宅街（相原団地）が現われる。この坂道を下ると、今回の終点である JR 横浜線相原駅に着く。

所々に一般道を通る場所も有ったが、総じて市境界の道路は尾根を通る山道であった。境界巡りの六回目も終わり、次回 4 月 1 5





日に開催される七回目の境界巡りは山岳地帯となる。この JR 相原駅から西へ向うのだが、地図にて事前学習すると八王子市と町田市の境界は 200~300m と低山ながら、かなりの山岳ルートのようなのだ。



記：小林尚道